

Appoko Art Forum 2018

塩田千春 Art Live Talk

2018
8.5(sun)
in 大阪かしわら

主催：アッポコ (Arts Project in OSAKA KASHIWARA)

協賛：gallerism 2018 実行委員会

助成：柏原市まちづくりに頑張る自治会・団体に対する補助事業・2018年度



アッポコ アートフォーラム 2018

塩田千春 Art Live Talk 8月5日(日)

開場:午後2時30分(午後3時開会)

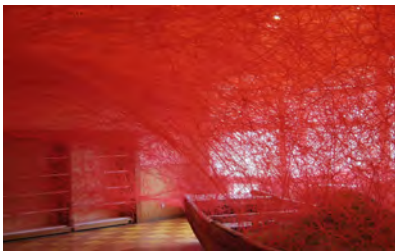
会場:アゼリア柏原(柏原市民交流プラザ6階)
JR大和路線柏原駅(西口直結)

参加者交流会:トーク終了後(午後5時半~)
会費1,500円(参加者からのドリンクまたは
フードの差入れは大歓迎です)

大阪出身でドイツ在住の美術家 塩田千春 氏を迎えてのアートフォーラムを開催します。

塩田氏は「横浜トリエンナーレ 2001」で《皮膚からの記憶》と題した泥のドレスを出品し一躍脚光を浴びた作家です。近年では「第56回ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展」で日本代表に選ばれるなど、その活躍はヨーロッパを中心に全世界に広がり、国内では「平成19年度芸術選奨 文部科学大臣新人賞」、「平成19年度咲くやこの花賞」美術部門(大阪)を受賞するなど、現代美術の世界において非常に高い評価を得ています。国立国際美術館、高知県立美術館、広島市現代美術館などでも個展を開催されており、越後妻有アートトリエンナーレ、瀬戸内国際芸術祭などでも活躍されています。

日本での講演は貴重な機会となることでしょう。是非、多数の方の御来場をお待ちしております。



塩田千春のアート活動 <http://www.chiharu-shiota.com>

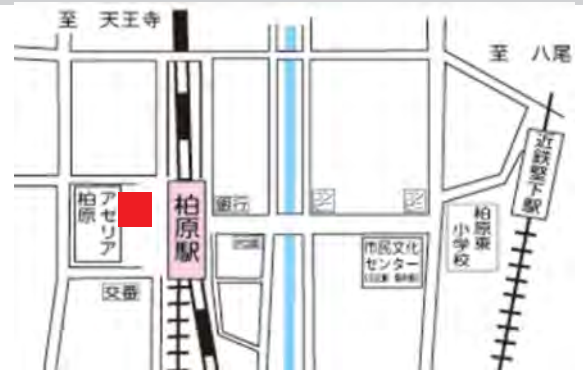
自らの経験から生まれ、内面的な物語としてはじまる記憶や感情に、制作過程を通じて、ひとつの形、空間を与える作品を発表し、また展示空間に無数の黒や赤い糸を張り巡らせた大規模なインスタレーションなどで知られています。各地のアートプロジェクトでの活躍はめざましく、日本国内でも大地の芸術祭や瀬戸内国際芸術祭をはじめ、昨年の奥能登国際芸術祭では、その土地で昔から守られてきた塩づくりの伝統と歴史をテーマにした《時を運ぶ船》を制作しました。

参加申し込み方法

定員:100人(先着順)定員に達したら受付を終了します。

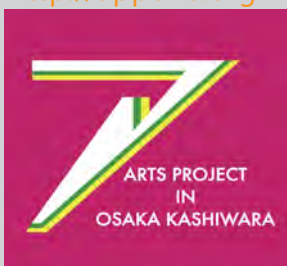
申込方法:以下の3項目をメールevent@appoko.orgに送ってください。①参加者の名前、②連絡先、③交流会参加の有無、④塩田さんにトークで聞きたいこと・話して欲しいこと(簡潔に)

問合せ:アッポコ事務局 info@appoko.org



アッポコとは

<http://appoko.org>



■目的

アッポコは、芸術文化の振興と地域社会の発展を図り、柏原から多種多様な芸術文化を発信することを目的とする団体です。

■活動

柏原ビエンナーレ企画支援事業(これまで7回開催)
現代音楽演奏会:柏原の音 音でたどる軌跡(2回開催)
アートフォーラム イン おおさか柏原(3回開催)
造形ワークショップ:どきどきワクワクこどもガーデン(3回開催)
アートイベント見学会、アートピクニック

■問い合わせ先

どなたでもアッポコに参加できます。詳しくはアッポコのサイトへ